令和5年度

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科
実 習	5 単位	3	必修	設備工業

1 科目の目標

工業の各専門分野に関する基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に習得させ、 技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる。

2 教科書

_

3 科目全体の評価の観点と趣旨

	・学習活動に積極的に参加しているか。	• 出席状況		
関心・意欲・態度	・安全作業に適した服装(学校指定作業服)をしているか	・学習・作業態度		
	・お互いに協力しながら、作業しているか。			
	・内容を理解して、実験・実習を行っているか。	・観察力等		
思考・判断	・工具、工作機械や測定機器を適切に判断し、使用している	各種機器の活用		
	か。	能力等		
	・事故防止のための規則・ルールを守り、行っているか。			
	・工具・工作機械を適切に使用し、工作物の加工ができてい			
	るか。			
	・測定器を適切に使用し、正しい測定ができたか。報告書を	・創意工夫		
技術・表現	作成できたか。	・機器活用能力		
	・製作物を完成できたか。	・文章表現力		
知識・理解	知識・理解・作成した報告書の内容・結果を理解できたか。			
	・各分野の基礎的技術を体験し、理解できたか。	• 作品内容		

4 評価の方法

各教科の評価は1,2学期が100点法(素点)、3学期が5段階評価で出される。 評価の規準としては、課題作品(作品、レポート等)、学習・作業態度、出席状況をみます。

課題作品 40%	学習・作業態度 30%	出席状況 30%
----------	-------------	----------

評価記載方法

- ・100点法
- · 5 段階評価

評価内容	100点法	5 段階評価
特に高い程度	100-80	5
上と中の中間	79 - 65	4
ほぼ達成	64 - 50	3
中と下の中間	49 - 35	2
特に不十分	3 4 - 0	1

学期	月	時間	学習内容	学習目標	評価方法
1 学期	4 5 6 7	75	 (1)積算班 (2)空調班 (3)配管班 (4)測量班 ※4つの班に分かれ、年間を通して4つのテーマについて各実習を行う。	○積算、空調、配管及び測量作業が担う社会的な意義や役割を理解し、施工時における安全項目を理解している。○社会や環境、エネルギーに配慮し、設備分	
2 学期	9 10 11 12	75		受任会や環境、エネルギーに配慮し、設備分野と関連付けながら、積算、空調、配管及び 測量作業に関する課題を見いだすとともに解 決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検	・製作課題・行動観察・課題発表
3 学期	1 2	25		証し改善している。 ○積算、空調、配管及び測量作業の発達について自ら学び、設備分野や施工法の発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	
各学	各学期の評価方法		<u> </u> 法	製作課題、勤怠状況で総合的に評価する。	